

ニュースレター No.66



「明治 150 年」

明治の歩みからつなぐ・つたえる組織として未知を探る

一般社団法人福岡県助産師会 会長 上野 恭子

平成 30 年を迎え、福岡県助産師会会員の皆さまにとりまして、今年も無病息災でご活躍されることを祈って新年のご挨拶にいたします。

今年は、「明治 150 年」という節目の年を迎え、国・都道府県・政令都市などが、様々な施策を打ち出しています。福岡県助産師会も、その前身は明治 42 年、産婆会からスタートしています。先人の産婆・助産婦・助産師として福岡県内の妊婦の方々の出産に立ち会い、新しい「いのち」誕生を代々見守り、歴史に足跡を残し現在も継承し続ける組織です。

平成 29 年度の福岡県助産師会スローガンは「つながるいのち、人、組織」と継続して掲げ活動してまいりました。平成 30 年度に向けて、福岡県助産師会の現状を改めて考えますと多くの課題を抱えていると思っています。組織役員として活動することは二足草鞋ではとても大変であるということ。対社会的活動を行うには、現在の医療環境や知識・技術の変化を熟知し、そのスピードに適応できる情報の収集や適材適所での人材が必要であることを痛感しています。

常任理事・理事の皆さんの頑張りだけではそろそろ疲弊に達しているような感じがしています。更には会員の皆さまの職場環境もそれぞれに大きく変化している現状があるのではないかと推察いたしておりますが、より多くの会員の皆様の御協力が必要と感じています。

また、現在の少子・高齢化の状況から 2025 年問題は、今後さらに働き手の減少が生じることが予測されます。助産師として、女性のライフサイクルに寄り添い次世代を産み育てていただくために、1 人ひとりの女性や子どもにきめ細やかな寄り添いができる存在でありたいと思っています。そのためにも今後、福岡県妊娠・出産包括支援体制整備への取り組みなどを皆様と共有し、妊娠・出産・子育てへの支援に繋がればと考えています。

今後の福岡県助産師会の在り方などを会員の皆さまと語り合っ、組織として新たな方向に進むためにも新しい会館への建て替えはとても大きい力になるのではないのでしょうか。完成後には多くの会員の方に利用していただき会員交流が活性化でき、その結果、地域の女性や子ども、更には家族・地域への活性化につながる組織でありたいと秘かに夢を描いています。

「ワクワク ドキドキ 新たな命をはぐくむ福岡県助産師会館建て替えワーキング」では、会員の皆様の強力な支援をお願い致します。今年もどうぞよろしくお願い致します。

会館建替え依頼業者決定！

福岡県助産師会 書記 仲道 由紀

平成 29 年 11 月理事会にて、会館建替え依頼業者が株式会社福岡工務店に決定し、同工務店には 12 月に内定通知書をお渡しいたしました。現在、各部会および各地区より、会館建替えワーキングメンバーを募り、6 名程度のメンバーが決定しつつあります。ワーキング会議は、メンバー 6 名に加え、オブザーバーとして常任理事が出席し、構成されます。建替えを進めるにあたって必要な事項を随時検討していきます。本格的な始動は平成 30 年 5 月の総会後からになりますが、プレゼンテーション時に福岡工務店の阿久津社長が言われていたように、7 月～8 月には福岡県内の各地区で具体的な会館建替えに関する説明会も実施していく予定です。多くの会員の皆様にご出席いただき、会館建替えに関するご意見やご要望、アイデア、経費削減案など、どうぞお聞かせください。会員皆様の会館です。みんなで意見を出し合い、オンリーワンの会館ができるよう、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

平成 29 年度下半期 表彰者の紹介



福岡県助産師会 副会長 古田祐子

平成 29 年度下半期に表彰されました会員の皆様をご紹介します。

☆福岡県公衆衛生協会理事長表彰：水元淑子様・寺田恵子様（助産師会推薦）

☆公衆衛生事業功労者県知事表彰：横山和子様（助産師会推薦）

上記表彰式は、平成 30 年 1 月 31 日にパピヨン 24 ガスホールで開催された「食と健康推進フォーラム」第 65 回福岡県公衆衛生学会・平成 29 年度福岡県食生活改善大会で挙行されました。表彰された皆様のご功績を祝福するとともに、これからのご活躍を期待しています。本当に、おめでとうございます。

『家族で迎える大切ないのち』
決ったかたりではなく、赤ちゃんとお母さんが
リラックスできる、自然なお産を目指しています。



菜の花 助産院

完全予約制

TEL.0948-23-0317

3 部会長活動報告

助産所部会 嶋井元子

年末、田川郡福智町に新しい有床助産院が開業しました。この時期に仲間が増えることはとても嬉しいことです。有床、無床あわせて県内 12 助産所になりました。

1 月 20 日、日本助産師会から初の遠隔セミナー「助産所における連携医療機関確保推進のための研修会」が開催され、福岡県も会場を確保し、県外からの参加者 1 名を含む 10 名の参加がありました。日本助産師会山本詩子会長が、長年「全国の会員とつながりたい」と言っていたことが実現したと挨拶されました。東京まで行かずに地元で研修が受けられる環境が整うと参加者も増え会員の交流も盛んになると思いました。

助産所部会は安全な出産のために医療連携は重要課題です。研修会では東京の助産所と周産期センターとの連携について紹介がありました。エリアによってオープンシステムなど体制が整っているようにも感じました。助産所部会も会員の交流をはかりながら、行政、医療機関と連携がとれるように努力していきたいと思えます。

保健指導部会 明星るみ

昨年は部会の活動にご尽力、ご協力頂きありがとうございました。

新年明けて 1 月 21 日に日本助産師会とのタイアップ研修会が無事終了した事をこの場を借りてご報告させていただきます。小児科の下村先生にはワクチンについて、日本助産師会保健指導部会長の淵元先生には虐待について、詳しく又わかりやすくお話を頂きました。続いて 2 月には 3 部会合同研修会が予定されております。保健指導部会からは平田喜代美先生から「産後クライシス」についての講演をいただく予定です。是非、ご参加ください。どうぞ、本年もよろしくお願ひいたします。

勤務部会 藤原裕美子

寒中お見舞い申し上げます。インフルエンザが猛威を振るっていますが、部会の皆様、毎日の業務お疲れ様です。

アドバンス助産師ですが 今年度の申請を考えてらっしゃる方は準備をお願いします。また申請済みの方は更新に向けての自己研鑽をお願いします。日本助産評価機構のホームページにアクセスいただき、オンデマンドでの研修を進めてください。

専門職の助産師さんの言葉は重く、その言葉で救われる方もいれば、萎える女性もいます。すべての母と子の幸せのために頑張りましょう。

2 月 25 日の 3 部会合同研修会には是非ご参加ください。お待ちしております。

各研修会報告

教育委員会 吉田静

教育委員会では今年度「切れ目のない支援」をテーマに研修会を行い、多くの方々にご参加いただきました。誠にありがとうございました。現在、平成30年度研修会の企画を検討中で今年度と同様、皆さま方に勉強になった！と思っただけの内容となるように努めております。

また平成28年度に開始した「助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルⅢ認証」の更新は5年毎で、更新要件には必須研修、ステップアップ研修の受講が含まれています。研修会ではこれらの内容も踏まえて検討しております。

魅力ある研修会の企画には会員皆さまのお声が大切です。ぜひご希望の内容を担当の地区理事までお伝えくださいますようお願いいたします。

災害対策委員会 重久 優子

① 災害対策委員会の研修会報告

「熊本地震を通して経験した防災」～助産師として大切にしたこと～

平成29年11月25日（土）に熊本県助産師会の会長である坂梨京子氏をお招きして研修会を開催しました。会員・非会員19名と学生13名の参加がありました。内容は、熊本県助産師会の震災前の現状から考察されており、地域に根付いた日頃の活動があったからこそ震災後の母子支援に繋がったことが印象的でした。保健指導部会の訪問事業に携わるメンバーが母子の安否確認をしたり、水道のある母子用の施設で沐浴を始めたり、助産師にしかできない支援があると感じました。講師からは、実際のライフラインの復旧スピードや、被災時の実態を聞くことができました。後半は、参加者ととともに非常食の試食も行い、日常の延長に防災があることを学びました。

② 災害対策委員会 避難訓練

平成30年1月6日（土）1月理事会時に理事会構成員で第2回避難訓練を実施しました。火元を炊事場と特定し、初期消火・避難誘導・通報を同時に行いました。通報は、119へのダイヤルから始まり、伝える内容は決まっていますが、気が動転しないよう質問に答えなければなりません。助産師会館では、日ごろからマタニティークラスや研修会が行われており、参加者の命を預かる責任を痛感しています。福岡市中央消防署より水消火器を借用し、消火器訓練も行いました。助産師会館内の2か所に設置している消火器の取り扱いに慣れるきっかけになりました。



ママのための
産後ケア110番
(産後の何でも相談室)スタート

- おいしいお乳を出すための自然食ランチ
- 痛くなく必ず出る母乳マッサージ
- 夫婦関係の悩みアドバイス(産後クライシス)
- 沐浴指導 ●しつけ何でも相談
- 赤ちゃんの発達相談

その他、何でも相談OK

平田母乳育児
コンサルタント
〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-38 チサンマンション天神Ⅱ817号
TEL/FAX: 092-715-1836
E-mail: kiyomi-110@smile.ocn.ne.jp ホームページ: http://www.oppai-smile110.ecnet.jp

11月12日研修会

先天代謝異常症と新生児マススクリーニング 報告

藤原裕美子

本研修会は熊本の化血研の協力と澁谷助産院の澁谷先生の計らいで、助産師会館で実施することができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

福岡大学病院小児科井上貴仁先生の多年にわたる研究実績をわかりやすい言葉で理解することができました。ポンペ病やファブリー病だけではなく、新生児マススクリーニング検査や先天代謝異常症についてもご講義いただき、中身の濃いお話しでした。福岡県でこの検査が受けられる赤ちゃんは幸せだと思っています。是非この検査の有効性を理解して、お母さまたちに妊娠中から勧めていただきたいと思います。

会員15名、非会員5名の参加でした。

また井上先生は歴史あるこの助産師会館にとっても感激されて、住んでみたい、残してほしいともお話ししていました。



助産師が助産師のケアを受けよう！～自然なお産は助産院で～

 **しぶや助産院**
Tel : 093-282-3476
〒811-4231 福岡県遠賀郡岡垣町旭台3-11-5

院長助産師
澁谷貴子

アロマスクール
Mother Rose
～開講中～
アロマセラピーを
学んで
助産ケアに
役立てませんか

しぶや助産院 検索
<http://www.shibuyai103.jp/>

「福岡県助産師会役員等候補者」立候補 受付のお知らせ

推薦委員長 諸永ミヨ子

平成30年度（次年度）役員改選に伴う「福岡県助産師会役員等候補者」立候補の受付を開始いたします。立候補される方は下記概要を確認の上、期限内に立候補届出用紙を提出してください。

【立候補概要】

1. 対象となる役員の役職名

・会長 ・副会長 ・書記 ・会計 ・監事

2. 立候補者資格

正会員（福岡県内に在住又は勤務する助産師であって、本会の目的に賛同し入会した者）

3. 提出先

〒810-0014 福岡市中央区平尾 1-3-41

一般社団法人 福岡県助産師会 推薦委員長宛

※福岡県助産師会 HP お知らせ欄に掲載している立候補届出用紙をダウンロードし、必要事項を記載の上、郵送にて上記住所までお送りください。立候補届出用紙がダウンロードできない場合は、福岡県助産師会代表携帯電話（080-2779-6708）にご連絡ください。立候補届出用紙を郵送にてお送りいたします。

4. 提出期限

平成30年3月31日(土)



一般社団法人福岡県助産師会では、会員募集中です。

ご友人や職場の方をお誘いし、一緒に活動してみませんか？

入会をご希望される方は、下記のQRコードより福岡県助産師会 HP 入会案内のページに入れます。

または、下記へ連絡をお願いします。

梶原 世津（会計担当）

電話/FAX 092-516-2703

メール setsu@med.kyushu-u.ac.jp



<入会案内>



<福岡県助産師会>

ひとりでも多くの皆様の入会を心よりお待ちしております



【編集後記】

広報委員長 澁谷貴子

大雪が多いと感じる今冬。

雪に埋もれ、家から出られない日が続いているとのニュースが流れました。こんな季節は、魚の麹漬けや、ぬか漬けなどの保存食は貴重だと再認識しました。私の母が持つ45年床のぬか漬けは、今も健在。母のぬか床を少し頂き私のぬか床に馴染ませました。これもまた、命をつなぐということ。助産師の先祖の思いを大事に、福岡県助産師会の未来を考え、助産師の命が輝く会であり続けるために

一人ひとりが活動したいものです。次年度は、広報委員もチェンジ致します。広報委員会に対して、皆様の多大なご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

広報委員 澁谷 益永 松山 長谷川 手取屋 野口

一般社団法人福岡県助産師会ニュースレター第66号 2018年2月

発行人 一般社団法人 福岡県助産師会 会長 上野 恭子

〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾 1-3-41

電話・FAX 092-521-2025 <http://www.fukuokajyosanshi.com>